

「校長室の窓から」

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/nishiwakikita-hs/>

令和8年(2026)6月19日(金)

第17号 発行: 隈元 優一

☎0795-22-5850/FAX: 0795-22-7359

生徒の力が輝いた「^{せいこうさい}星煌祭(文化祭)」一心をひとつに創り上げた2日間—

生徒の皆さん、2日間にわたる文化祭、本当にお疲れ様でした。この2日間を通じて皆さんの活動をじっくりと見せてもらいましたので、振り返りを含めてお話しします。(岸本教頭先生の講評より)

■初日：ステージ発表について

初日のステージ発表は、生徒の皆さんの「鑑賞態度」が非常に素晴らしかったということをお伝えしたいです。開会式の際、生徒会のメンバーからステージ鑑賞における注意事項がありました。皆さんがその注意をしっかりと守って鑑賞してくれたおかげで、舞台上で活動する人たちが、非常にパフォーマンスしやすい、あたたかい雰囲気を作られていたと思います。素晴らしい一体感でした。そうした素晴らしい雰囲気の中で、いくつかのステージ発表が行われました。

□3組のステージ発表(演奏とダンス)

素晴らしい歌と演奏を披露してくれました。生徒たちは「ギターを始めてまだ2年で、ステージに立つのはすごく恥ずかしかったけれど、頑張っ

て練習してきた」と話していましたが、生徒らにとって間違いなく素晴らしい経験になったはずです。次のダンスパフォーマンスの途中、少し音響のトラブル(機材トラブル)がありましたが、そうしたハプニングにも動じることなく、しっかりと最後までやり切った姿は大変立派でした。また、客席の皆さんも手拍子をして、生徒たちが歌いやすい見事な空気を作ってくれたことに、感謝したいです。

□ウエイトリフティング部の発表

体育館は非常に暑かったですし、少し心配しながら見始めたのですが、いざはじまると全くそんなことはありませんでした。内容は、人気ゲームの「ピクミン」をモチーフに、ピクミンたちがそれぞれの個性に気づいていき、「みんな違ってみんないい」というメッセージに繋がっていく、非常に完成度の高いものでした。最初はどんな話の展開になるのかと観ていましたが、徐々に奥深いテーマへと引き込まれ、非常に感動させられました。劇の内容そのものはもちろん、ウエイトリフティングという競技の楽しさや、部員同士の仲の良さが客席にもしっかりと伝わってくる、本当に良い発表でした。

(裏面へ)



▲ 文化祭ポスターデザイン(4年次YN)

■ 2日目：展示・模擬店について

そして2日目は、模擬店やクラス展示・研究発表を中心に行われました。今回の文化祭は、「展示で観る・体験する・そして模擬店で食べる」という全体のバランスが非常に良く取れた、中身の詰まった素晴らしい文化祭でした。

□ 1年生（クラス展示）

学校生活を題材にした定点劇を披露したり、視覚的に来場者を楽しませるような工夫が随所に見られたりする、手の込んだ展示を行ってくれました。（くすっ、と笑えるものがありました）

□ 2年生（体験型企画）

来場者がただ観るだけでなく、実際に参加して体を動かしたり体験したりできるような、工夫を凝らした催し物で会場を盛り上げてくれました。（体験待ちで長蛇の列ができていました！）

□ 3年生（模擬店）

飲食を中心とした模擬店を企画・運営してくれました。事前の買い出しや仕込みなど、一番大変で重要な部分をしっかり担ってくれ、最上級生として素晴らしい役割を果たしてくれました。（会場中を美味しい空気にしてくれました）

■ 総括：文化祭を終えて

生徒の皆さんにとって文化祭とは、単に日頃の成果を判断されたり、発表したりするだけの一方通行の場ではありません。何より「仲間と一緒に一つのことを成し遂げる」というかけがえのない経験の場です。

本日までの文化祭の中で、生徒の皆さんがそれぞれに得た気づきや学びを、ぜひ今後の教科学習や日々の教室での授業の中に活かしてってください。

今回の文化祭が、これからの生徒の皆さんの部活動や学校生活における糧となり、ひいては我が校のさらなる発展に繋がるような、そんなきっかけにしてくれたら嬉しく思います。

本日紹介した生徒たちだけでなく、部活動として、あるいはそれぞれの委員会の活動、日頃の授業の成果としても、本当に素晴らしい発表の数々を見せてもらいました。

これほどまでに充実した、素晴らしい文化祭を開催・運営してくれた生徒の皆さん、生徒のサポートに携わった先生方、また家庭でも応援して下さった保護者等の皆様に心から感謝します。



▲ Ⅲ部生徒作品 モザイクアート